

ネガティブを吹き飛ばす“超”繁盛の法則 実践事例 紹介 第4号は…株式会社ハブ（東京都）『異文化を日本に広げる』使命を継承する太田社長の静かなる闘志に注目！

◇会社概要◇ (2009年2月末日現在)

■商 号 株式会社ハブ
■本 社 東京都中央区築地六丁目4番10号
■設 立 1998年5月（創業1980年3月）
■資 本 金 6億28百万円 ■売上高 約50億円
■事業内容 英国風パブ事業等
■従業員数 130名（316名）※（ ）は臨時雇用者数
■H P <http://www.pub-hub.co.jp>

◇経営理念◇

英国PUB文化を日本において広く普及させるため
英国風PUBを通じてお客様に感動をあたえる
「感動文化創造事業」を開拓する

◇社名の由来◇

HUB（ハブ）「車輪の中心」=転じて
「人の集まるところ」「くつろいだ会話
を楽しむこと のできる、心の交流を持つ
る場」という意味。



◇長期ビジョン◇

2018年2月期のありたい姿に向か、従業員一丸となって邁進。

【ありたい姿】

- 日本全国に英国PUB文化を広めている
- 2018年2月期の目標
 - ビジネスモデルが確立され、基盤づくりが完了している
 - 数値目標 店舗数130店舗、売上高100億円、経営利益8億円

◇経営方針◇

■正直な経営

「オネスト」を当社の経営の基本姿勢とする
常に「公平・公正・公開」を心がけ、正々堂々と経営を行う

■着実な経営

業態の実力を磨きつつ、着実な成長をめざす

■常に変革する経営

「ワイガヤでアイデアを出し合い、すぐに実行する」風通し
のよい風土を重視し、全員参画で絶え間なくイノベーション
を生み出す

■従業員重視の経営

経営理念を実現する主役である従業員を大切にする

■業態のご紹介 左=HUB(ハブ) 右=82(エイトゥ)



■店舗数：49店舗（2009.11時点） ■ターゲット層：20代～30代
■立地：駅前繁華街やビジネス街 ■店舗サイズ：30坪～50坪

■コンセプト：
「1000円札一枚でいい気分」をコンセプトにかけた英国風PUB。
※PUBとは……
[Public House]の略。公共の場、みんなの家という意味。年齢も職業も性別も違う人々が自由に集まり、それぞれの楽しみかたで、素の自分に戻れる場所。



■店舗数：10店舗（2009.11時点） ■ターゲット層：30代～50代
■立地：ビジネス街中心 ■店舗サイズ：15坪～25坪

■コンセプト：
もうひとつの英国風パブ。違いのわかる大人の世代をターゲットとした
「大人の為のセカンドハウス」「地域に必要とされる、地域密着の街角
英国パブ」。

■主な沿革■

1980年 創業

1997年 第2の創業
プロトタイプとなる
池袋東口店を出店

2005年 82業態開発

2006年 大証「ヘラクレス」上場
2008年 ハブ大学開校

ダイエーの創業者、中内功氏が「英国のパブ文化を日本に広めたい」という思いを込めて開発したブランド。“いいものを安く”というダイエーのDNAを存分に發揮し、生ビール180円、シェリー酒、スコッチも同じく180円という高品質×低価格で神戸に1号店を出店。

17年の試行錯誤の後、「もう一度原点を見直す」を目的としてプロジェクトチームを発足。「第2の創業」を掲げ、1年をかけて開発した店舗を池袋東口にオープン。
渡英して学んだ結果「本場をそのまま持ち込むべきもの」と「持ち込んではならないもの」の仕分けを徹底。日本人に受け入れられる英国風PUBのプロトタイプとして池袋東口店を出店し、大成功をおさめる。
以来、独自のポジションを確立し、店舗網を着実に拡大。

「ハブのできないPUBのこと」を目指して開発。本場の店づくりを手本に、「どこの席からでもオーダーできる店舗サイズ」で展開。地元に根付きじっくり育っていく本来の英国パブの要素をふんだんに盛り込んだ業態として神田に1号店を出店。

企業内大学「ハブ大学」

自己成長力のある個人を支援し、「社内外で通用する自立した個人と、活力のある組織を実現する」という人財開発基本方針のもと、開校。

「人間力」「経営力」「技術力」のレベルアップを図り、「従業員のキャリア開発」と、「長期的な企業競争力の確保」が目標。

